

沖縄・辺野古

普天間基地の関空への移設案ってどう？

最近、メディアを賑わしている普天間基地の移設問題。鳩山首相は5月末までに移設先を決定するとも述べていて、この問題は今、大きな節目をむかえようとしている。沖縄が戦後65年間ずっと抱えてきた米軍基地の負担の問題。(国土の0.6%の沖縄に在日米軍基地の実に75%が集中している。)米軍基地についての考え方は色々ある。「防衛ではなく侵略戦争のために使われているのだから、米軍基地を日本におくのは間違ったこと。全部撤去すべき」と考える人もいれば、「米軍基地は日本の平和に必要なもの。沖縄、または日本のどこかにおくのは妥当なこと」と考える人もいる。どちらにしても、今もずっと基地の被害を受け続けている沖縄の人たちの苦しみを放っておくことは、基地を押し付けてきた“本土の無責任”と言われても仕方のないことかもしれない。

12月、橋下大阪府知事は「普天間基地の関空への移設案」を提案した。今すぐに米軍基地の問題の解決には繋がらないとしても、沖縄の基地負担軽減には繋がるひとつのアイデアかもしれない。この関空への移設案(問題)を通して、沖縄の米軍基地問題について考えたいと思います。大阪(日本)に住む人間が沖縄の基地問題を自分の問題として考える機会にもなればと思います。



住宅地に隣接する普天間基地



祝島の練堀



「生命の海を埋め立てないで!!」



原発建設予定地の生物調査

山口・上関

大阪に原発がないのはなぜ？

山口県上関町には今でも自然海岸が残る美しい海があります。そこには瀬戸内海の生態系のホットスポットと呼ばれる程多様な希少生物が命を育んでいます。そしてその海に寄り添うように人々も生活し、文化を育んできました。しかし、その海岸に28年前、上関原発が計画されました。人々は賛成派、反対派に二分され、人間関係もぎくしゃくしたものにならざるをえなくなりました。そして地元・祝島の人々を中心に建設反対の声が高まっているにもかかわらず、2009年10月、埋め立て工事が始まり、生態系や人々の生活が破壊されようとしています。今、温暖化など環境問題の深刻さ、地方の活性化、公共事業見直しが叫ばれる中、新たな原発建設は必要なものでしょうか?同じ瀬戸内海でつながっている大阪と一緒に考えてみましょう!

爆笑問題が出演する『太田光の私が総理大臣になったら…秘書田中』の太田総理マニフェスト「アメリカに今後1円も払いません!米軍には出て行ってもらいます!」(2,009.11.6放送)においても普天間基地移設問題が取り上げられていました。今回また、普天間基地の関空への移設案、そして沖縄の米軍基地問題について、ざっくばらんに意見交換したいと思います。